

令和3年度使用 中学校美術科調査資料

発行者	調査内容
開隆堂出版	<p><生徒の表現力を伸ばし、創造性を培うことができる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材にQRコードを掲載しており、制作過程がわかる動画や作品の解説、教科書掲載以外の作品画像、用具の安全な使い方等を、生徒個々のタイミングで見ることができる。(QRコード数およそ60点) ○個々に発想が広がるように題材名を工夫してつくっている。ねらいにそって生徒が創造性を高められるように、意識すべき造形的な視点や学習を深めるヒントを、リード文や「学習のポイント」で示している。 ○「発想・構想の方法や学習の進め方」「他教科との関連」「関連づけて学習できるページ」等、主体的に学習を深めるポイントを11種類のマークを使って分かりやすく示している。 <p><題材の設定や参考作品の選択等への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材、指導要領にそって目標を3観点で示し、1題材およそ見開きの2ページで構成している。(題材数：56) ○着眼点の違う生徒、作家作品を掲載することで、個々の感覚に基づき題材への迫り方を考えられる設定となっている。また、該当学年相応の生徒作品を掲載することで、各自の技能に応じて無理せず取り組める設定となっている。(生徒作品148点掲載) ○暮らしや社会と美術とのつながりを意識させる題材が29あり、美術を学習する意義を生徒が感じ取りやすい設定となっている。 <p><写真や資料のレイアウト></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書はA4ワイド判。美術1と美術2・3の2冊構成。解説文や作品画像、活動写真等を、間隔をあけて配置し、地の色を全ページ白で統一しており見やすい。 △鑑賞題材として、作品の魅力が伝わるように原寸大資料を4点掲載しているが、他者と比べると少ない。
日本文教出版	<p><生徒の表現力を伸ばし、創造性を培うことができる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材によってQRコンテンツが充実しており、タブレット端末で技法や解説動画等を個々のタイミングで見ることができる。また、タッチ操作で360度方向から生徒作品等を見ることがもできる。(QRコード数およそ50点) ○活動をイメージしやすいように題材名をつくっている。題材をとおして着目すべきポイントをリード文や吹き出しの「造形的な視点」で示している。 ○「題材との関連情報」「道徳との関連」「関連づけて学習できるページ」等、主体的に学習を深めるポイントを9種類のマークを使って分かりやすく示している。 <p><題材の設定や参考作品の選択等への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材、指導要領にそって目標を3観点で示しており、1題材およそ見開きの2ページで構成している。(題材数：54) ○様々な視点や手法で表現された生徒作品、作家作品を数多く掲載することにより、多様な切り口から学習に取り組める設定となっている。(生徒作品207点掲載) ○暮らしや社会と美術とのつながりを意識させる題材が30あり、美術を学習する意

	<p>義を生徒が感じ取りやすい設定となっている。</p> <p><写真や資料のレイアウト（鑑賞作品も含む）></p> <p>○教科書はA4ワイド判。美術1と美術2・3上と下の3冊構成。表情豊かな生徒の活動写真や迫力ある写真を多く掲載している。解説文や作品画像等を、隙間を埋めるように配置し、ゆとりが欲しい誌面もある。</p> <p>○鑑賞題材として、作品の魅力が伝わるように原寸大の資料を7点掲載している。</p>
光村図書	<p><生徒の表現力を伸ばし、創造性を培うことができる工夫></p> <p>○題材によってQRコードを掲載しており、タブレット端末で制作のプロセスや技法動画、掲載作品の360度動画等を個々のタイミングで見ることができる。(QRコード数およそ40点)</p> <p>○活動を端的にイメージできるように題材名をつくっている。また、リード文で意識すべき学習のポイントを3行以内で簡潔にまとめている。表現や鑑賞の活動を深める問いかけや表現のプロセス例を示し、生徒が取り組みやすいよう工夫している。</p> <p>○「みんなの工夫（表現のプロセス例）」「道德との関連」「関連する巻末資料ページ」等、主体的に学習を深めるポイントを4種類のマークを使って示している。</p> <p><題材の設定や参考作品の選択等への配慮></p> <p>○各題材の目標を、表現と鑑賞の2観点で示している。1題材2ページ構成が多い。内容により1、3、4ページ構成の題材がそれぞれ複数あり、題材によって軽重をつけた構成になっている。(題材数：39)</p> <p>○ねらいにそって、比較的近い系統の生徒、作家作品を掲載しており、学習の方向性を絞って取り組めるような構成となっている。(生徒作品116点掲載)</p> <p>△暮らしや社会と美術とのつながりを意識させる題材が20あり、さらに充実するとよい。</p> <p><写真や資料のレイアウト（鑑賞作品も含む）></p> <p>△教科書はA4判、美術1と美術2・3の2冊構成。情報量が充実している分、文字量が多く感じる誌面もある。</p> <p>○トレーシングペーパーを使って書き込みができる鑑賞題材や、紙質を工夫しより本物に近い感覚で見ることができるようにした図版など、生徒の感性を刺激する新しい試みがある。原寸大資料は4点掲載している。</p>